

慰霊の日 平和巡礼「世界平和の実現へ」

沖縄県慰霊の日に沖縄カトリック中学高等学校の全校生徒が平和巡礼を実施いたしました。その様子がカトリックジャパンニュースに掲載されておりますのでご案内いたします。以下の URL よりご覧ください。

カトリックジャパンニュース 2025 6/25 「世界平和の実現へ 力尽くす決意新たに」
<https://cj-news.org/domestic/peace/1997/>

それぞれのコースについて事前に調べ学習を行い、慰霊の日当日は実際に現地を訪れることで、当時いかに過酷な状況下であったかを想像しながら県内各所の激戦地を歩きました。ひめゆりの塔で那覇教区の平和巡礼に参加されている方々と合流し魂魄の塔まで共に歩き、「新しい戦前」が起こることがないように、平和の創造に向け誓いを新たに致しました。行く先々で生徒達に励ましやお声がけをいただきましたことに心より感謝申し上げます。

■平和の誓い(中学校 3 年生)

- わたしたちは 80 年前に沖縄戦でおきた人が人の命を奪う残酷な出来事を知りました。沖縄戦で失われた尊い命が天国で安らかな眠りでありますよう祈ります。そして同じ過ちを二度と繰り返さないよう努力することを誓います。
- わたしたちは何不自由なく暮らしていますが、今、世界では戦争や紛争で命を奪われた人々がいます。平和学習で学んだ命の尊さをしっかり心に留め、世界中の人々が笑顔で暮らせますよう平和の願いを祈ります。
- 平和学習で沖縄陸軍病院本部壕に刻まれている短歌から看護婦だった彼女たちの当時の様子を知ることができました。また、短歌には希望ある未来を思い描いていた彼女たちの奪ってはいけない将来を戦争によって奪ってしまった、という残酷さを伝えているように感じます。同じ事がおこらないように世界の全ての人々が平和に暮らせるように祈ります。
- 戦争の悲惨さや多くの命が奪われてしまったことを知りました。糸洲の壕では、皆が平等に扱われず、住民は追い出されてしまうという悲惨な事実がありました。平和な日常が当たり前ではないことを忘れず、人が人でなくなる悲惨な戦争がもう二度と起こらないよう心から願います。